

教育研究所だより

2008.8.11 No11

授業改善の視点を学ぶ

英語研修会

7月31日(木)午前、夏季休業中の教科研修スタートとなる英語研修会を、講師に宮城県東部教育事務所登米地域事務所主幹(指導主事)佐々木敦子先生を迎え市視聴覚センターで実施した。講義では、新学習指導要領改訂に関連した授業の組み立てとして、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ」、「これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに」、「主体的に学習に取り組む態度を養い」、「活動量の確保が大切であることを主張された。演習では、授業づくり、小中の連携指導について行った。18名の市内小・中学校教員が受講した。

【英語研修会受講者の感想】

本当に意義のある研修会でした。特に私の場合、中学校です。授業で使える具体的な教材の仕方を学びました。夏休み中に自分でも練り直し、教材だけでなく色々な事を実践したいと思います。



講師の佐々木敦子先生と受講者

社会科研修会

7月31日(木)午後宮城県東部教育事務所登米地域事務所主幹(指導主事)三浦 馨先生を講師に市視聴覚センターで実施した。前半は社会科における授業改善の視点として、学習指導要領の改訂と社会科指導の授業づくりと題して講義され、後半は、社会科指導上の諸問題についてバズ・セッションの演習を行った。まとめとして、日々の授業づくりに誠実に取り組み、授業づくりに努めること(PDCAサイクル)が、教師の専門性を高める最良の道であると述べられた。市内小・中学校教員32名が受講した。

【社会科研修会受講者の感想】

他校や異校種の先生方とバズ・セッションする機会を設けて頂いたのもとても有意義なものとなりました。授業づくりの流れについて再確認することができました。

「多忙」を言い訳にして怠けていた自分が恥ずかしく思いました。生徒のために何が一番大切かをよく考えて、実行に移していきたいと思えます。



講師の三浦馨先生と受講生

実践研究を発表

7月30日(水)中田生涯学習センターで、教育研究所夏季研修会及び平成19年度宮城県教育研修センター長期研修員発表会並びに教育研究所学校教育研究部発表会を開催した。研究発表は下記の5名の先生方が行った後に、宮城県教育研修センター副所長 高橋幹三先生から「当面する教育課題」と題して、講話を頂いた。市内小中学校より32名の先生方が参加した。

発表者と研究主題

専門研究(学力向上) 米川小学校教諭 笠原英康
児童生徒の学力向上を目指す「みやぎの授業改善」(2年次) 思考力、表現力を高める授業デザインの実践を通して -
専門研修(情報教育) 佐沼小学校教諭 野里恵二
情報モラルの教育の推進

「宮城の情報モラル指導資料」の作成と活用の提言を通して-
長期研修員C(国語) 佐沼中学校教諭 鈴木 司
古典を身近に感じ、興味・関心をもって取り組む生徒を育てるための指導の工夫 1年生「古典」にコース別学習を取り入れた授業実践を通して-

長期研修D(教育相談) 迫養護学校教諭 小野寺春樹
特別支援学校における教育相談推進者としての資質と専門性の向上を目指して 個別の教育支援計画を活用した迫養護学校と関係機関との連携の在り方を深める

当研究所学校教育研究部 加賀野小学校教諭岩淵安弘
登米市の児童生徒の学力向上標準を図る授業づくりを目指して 平成18・19年度登米市標準学力調査結果の比較分析と考察を通して-



講演中の高橋幹三先生